

- ⑥ コメント： ボイルは仏語のvoile, いわゆるベイルが語源である。双糸ボイルは最高級品であるが、単糸ボイル（たて、よこ糸とも40～50°単糸強撚使い）、ハーフボイル（たて100/2°強撚糸、よこ50°強撚糸）などもある。また模倣ボイル（mock voile）は普通糸の類似規格織物を擬麻加工したものがあ。いずれも製織時には、1.5cm幅の別耳糸をつけ、かつ箴羽は1本通しが必要である。

1.2.2 ゴーズ (gauze, plain gauze)

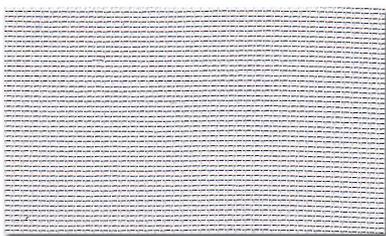
- ① 素材： 綿糸, ポリエステル綿混紡糸
 ② 織物組織： 搦み織り (紗)
 ③ 織物規格 (生地)：

〈糸〉 とくに規格はないが40° (コマ糸), 80/2°以上の細番手使いが一般的
 〈密度〉 とくに規格はないが, カバーファクター8～9以下 (40°で60本/in = 23.6本/cm) のものが一般的

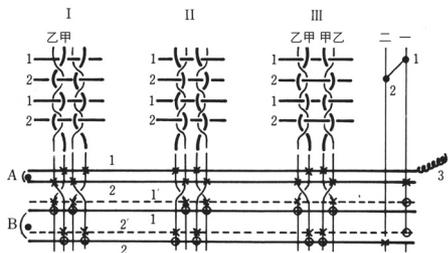
〈幅〉 97.2cm (38in)
 〈長さ〉 36.6m (40ヤール)

- ④ 用途： ワンピース, ブラウス, ドレスシャツ, カーテン

- ⑤ 特徴： 図1.1のように, よこ糸1本に対して, 2本のたて糸を絡ませて, ガーゼのように目を粗くして織ったものである。目が粗くても目寄りしない。



▲ゴーズ



●図1.1 紗組織図

一般に紗と呼ばれている。布面は、たて糸が絡まるので、同一密度の平織と比べると、透かし目が多いので、通気性が大きい。夏季のドレスに適している。

- ⑥ コメント： 搦みたて糸は、搦み用半綜統と、通常の地たての平織用綜統の両方を通して、ドビーまたはジャカード開口装置の開口信号に従って、地たての下をくぐって、地たての位置と反転をして、よこ糸をはさんで、搦み作用をする。なお半綜統の代わりに、搦み専用のフラット・ヘルドも広く実用されている。図1.1のIは左もじり, IIは右もじり, IIIは左右もじりの紗 (gauze) である。

1.2.3 レノー (leno cloth)

- ① 素材： 綿糸
 ② 織物組織： 搦み織 (紹)
 ③ 織物規格 (生地)：

〈糸〉 制限はないが40° (コマ糸), または80/2°以上の細番手使いが一般的
 〈密度〉 制限はないが, カバーファクター8～9以下 (40°で60本/in (23.6本/cm) 程度)

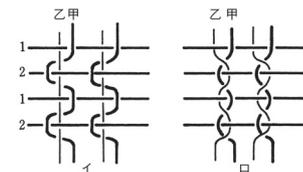
〈幅〉 97.2cm (38in)
 〈長さ〉 36.6m (40ヤール)

- ④ 用途： ワンピース, ブラウス, ドレスシャツ, 縁飾り, カーテン

- ⑤ 特徴： 図1.2のように, 1本の



▲レノー



●図1.2

●第1章 不織布の定義●

1. 定義：ref. (JIS0222) Nonwoven Fabric

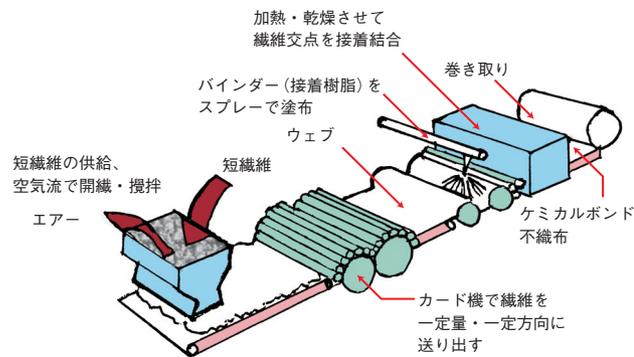
繊維シート，ウェブまたはパットで，繊維が一方向，又はランダムに配向し，摩擦，機械的，物理的作用による繊維相互間の交絡，あるいは化学的接着剤による接着，混用熔融繊維による融着などによって，繊維間が接合されたもの。ただし，紙や基布に毛羽を植え込んだタフト，圧縮フェルトを含まない。

●第2章 種類と製法●

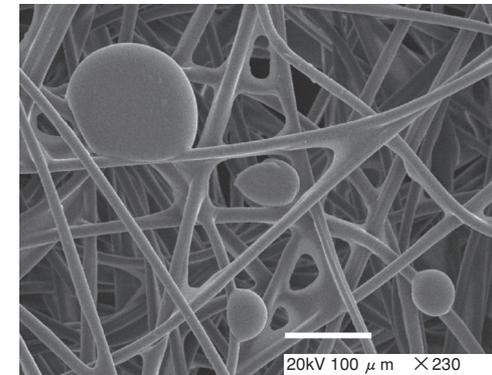
■5. 2. 1 乾式ケミカルボンド (Chemical Bond)

繊維長の比較的長い短繊維を空気流で開繊，攪拌し，カード機のドラムの針で一定方向に送り出し，ウェブを形成し，PVA (ポリビニルアルコール)，NBR (ブタジエンアクリルニトリル共重合体)，ポリアクリル酸エステルなどの接着剤 (バインダー) をスプレー方式や，プリント方式で塗布，加熱，乾燥させて，繊維交差点を接着結合するウェブ形成法。

- ① 使用繊維： ポリエステル・ナイロン・レーヨン
- ② 使用樹脂： アクリル系酢酸ビニール共重合体



●図5. 1

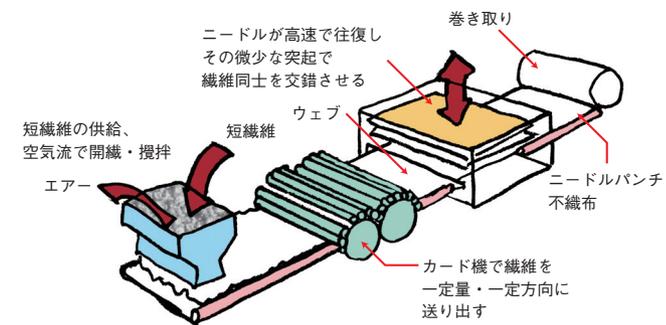


●図5. 2 金井トラベロンH885P 表面SEM写真

■5. 2. 2 乾式ニードルパンチ (Needle Punch)

繊維長の比較的長い短繊維を空気流で開繊，攪拌し，カード機のドラムの針で一定方向に送り出し，ウェブを形成し，所要の積層にしたシートに特殊鉤針を高速で往復運動パンチし，交絡させるフェルト形成法。

ニードルの種類，貫通密度，貫通深さの3要素で物性が決まる。



●図5. 3